

# あかあか

プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷  
大判ポスター出力・データベース・PDF高速データ変換・CD-ROM制作  
3D・CGアニメーション企画・制作



半田中央印刷株式会社

〒475-0032 半田市潮干町1番地の21  
TEL <0569> 29-2525 (代) FAX <0569> 29-4500  
E-mail: main@handa-cp.co.jp http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

## 元気でてくる“ことばたち” (115)

### 村上信夫 (アナウンサー)



鏡は絶対見ない。「目で聞き、耳で見る」という。犬の鳴き声一つでも、目を閉じて耳をすませば、大きいか小さいか、太っているかやせているか、極

**■村上信夫プロフィール**  
NHKチーフアナウンサー  
1953年、京都生まれ。明治学院大学卒業後、1977年、NHK入局。富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。4月からは、新番組『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30~11:50) これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。趣味は、将棋。著書に『元気でてくることばたち!』(近代文芸社) 『おやじの腕まくり』(JULA出版局) 『いのちの対話(共著)』(集英社) 『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

### 目で聞き、耳で見る

#### タレントコロツケさん

大河ドラマ『篤姫』を見ていたら、辻に立つ瓦版売りが出て来た。どこかで見た顔だと思ったら、コロツケさんだった。コロツケさん扮する瓦版売りの太助は、黒船で来航したペリーの顔真似をしていた。きつと、当時の瓦版売りも、顔の表情を変えたり、声色を変えたりしていたのではないだろうか。もともと、歴史上の人物もレポートリーのひとつだ。淡谷のり子と徳川家康対談も実現させた。とにかく千変万化、動物も入れると、三〇〇ネタはあるらしい。コロコロ表情が変わるからコロツケとなったらしい。庶民の味コロツケのように親しまれる存在でありたいという思いも込められているらしい。

温厚か気が荒いか、いろいろ想像を巡らせることが出来る。ふだんから、よく人間観察をしている。「人の振りみて、我が振りにする」。第一印象をインプットする。レポートリーにしようなんて下心があったら上手に物まね出来ない。その人に興味を持ち、「すごい」と感心する。それが物まねにつながる。コロツケさんの物まねは、似ているようで似ていない。似ていないようで似ている。

あおいくまの教え 一九六〇年、熊本生まれ。幼いころは、おとなしい子だった。一方、姉は物まね上手で弾けていた。姉は、最近

母から教わった家訓を今も大切にしている。それは『あおいくま』。「あは、焦るな。おは、怒るな。いは、威張るな。くは、くさるな。まは、負けるな。落ち込みそうなき、有頂天になりそうなき、自分自身への戒めとして大切にしている。幼いころは、毎日、口に出して唱和していた。今でも、紙に書いて、張り出している。エレベーターに乗っていても、最後に降りる。「開」ボタンを押して、人が降り終わるのを待っている。「どうもすみません」と言いながら降りる人から笑顔が生まれる。押しているほうも、いい気持ちになれる。

ケロッケとしてタレントデビューを果たした。地元で、物まねの出来る介護士を務めている。人気者の姉がうらやましかった。姉が中学卒業したとたん、自己規制が取れて、物まねを始めた。初めての物まねは、郷ひろみだった。初恋の人が郷ひろみファンだったから、何とか気を引こうとしたのだ。クラス全員が盛り上がり上がった。それがたまたま嬉しかった。観客に少しでも喜んでもらいたいというサービス精神の原点になっただけかもしれない。反対する家族を説得して上京。タレント修業をして、一九八七年、「ものまね王座決定戦」で優勝した。当時、清水アキラ、栗田貫一、ビジーフォーとともに、『物まね四天王』と呼ばれた。

本業についても、「僕の芸を見て、家族や恋人の間に会話が生まれる。そんな、人の心のアルバムに残るような存在になりたい」と思っている。「隙間タレントですよ」と自嘲する。「皆さんの生活に、ちょっとおじゃまするような気持ちです」とも。母の教えは、確実に生かされている。デビューから25年たつて、やっと自分らしさが出てきたという。近い将来、アメリカ進出をして、ハリウッドで仕事したいと思っている。向こうの人の物まねではなく、「日本」を紹介する芸で勝負したい。

そして、50歳までには、コロツケの人情喜劇を確立させたいと思う。「奥ゆかしさ、引きの美学」を大事にしたい。さらに、「80歳で淡谷のり子がきちんと出来て、僕の芸は完成する」と予想を立てている。「たいした、たまげたい」と淡谷さんが言ってくれることは、まちがいない。

村上信夫 村上信夫 村上信夫  
言えなかったありがとう。  
世界でたった一人の大切な人へ。  
好評発売中

物まねは暗闇から 驚いたことに、コロツケさんの物まねは、実は暗闇から生まれる。真っ暗な部屋で、記憶の中の顔を思い出して、イメージを膨らませていく。鼻の下を伸ばしたり、あごを上下に動かしてみたり、上目づかいにしてみたり、ほおを膨らませてみたり、あれこれ試みる。

鼻をほじる野口五郎は、あまりにも有名だ。床をのけぞるちあきなおみ、ロボットの五木ひろし、ピップホップと作の北島三郎。本人がやりそうではないことを表現する。本人を知らなくても笑える。みんなが心のどこかで



作画/イネ・セイミ

**イネ・セイミプロフィール**  
フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

**俳画教室開講中**  
ところ 常滑屋  
とき 月一回 第一金曜日 午後一時  
会費 一回 二、五〇〇円(四ヶ月分前納制)  
問合せ ☎〇五六三(三三)〇五八三

堤江実のボエムCDでお届けします。  
言葉に癒されるCD 堤江実のボエムガーデン やさしい風がふいています。木々の梢が光っています。あなたの心がやすらぎで満たされましように。あなたの心に喜びがあられますように。

詩と朗読 堤江実  
フルート イネ・セイミ  
ピアノ はちまん正人  
構成 佐藤よりこ  
Disc1. 光のように  
Disc2. 花のように  
2003年10月22日発売  
CD 2枚組3,150円(税込)



愛知県立大学名誉教授

# 山田正敏

## 『バリ島行ったり来たり』(5)



『ガルダ・インドネシア航空』で行く  
バリ・ジャワ島観光の旅(1)

私のバリ島への興味・関心は、すでに書いたように、「WHO調査で、世界で一番精神病の少ない地域といわれたバリ島とは、どのような地域なのか、バリ島の自然環境・生活環境とはどのようなものか、とくに子どもたちの学校生活・家庭生活・地域での生活とはどのようなものなのか」を少しでも解明し、日本の教育・子育ての「非人間化からの再生」の糧にしてゆきたい、という切実な願いに発したものである。この思いは今も変わらない。

この切なる思いを実現する最初の扉を開けた『はじめてのバリ島行き』は、本紙一月一日号に書き記したように、九二年の夏休みである。妻が八〇年代より参加していた「アジア文化交流センター」(同朋大学 宇治谷学長主宰)の観光団体旅行に同行させて頂いての渡航であった。その渡航費は、この年、名大・稲沢女子短大・県立大学での教え子、四〜五十人が祝ってくれた還暦祝賀パーティーでの「使用目的を明記した祝い金」であったように記憶している。

この観光旅行のスケジュールは、バリ島の名所巡り、舞踊観賞は

もとより、佛教学者宇治谷祐顕氏が、一九七〇年代より、その修復に参画・尽力された世界最大の佛敎遺跡ジャワ島中部のボロブドゥル遺跡の見学、古都ジョクジャカルタ市内観光まで織り込まれていた。

いまや国連の世界文化遺産に登録されているボロブドゥルの遺跡には、宇治谷学長の功績を顕彰する碑文が建てられていると、同行の方々が誇らしげに語っておられるのを側聞し、佛敎徒でありながら、日頃より佛敎文化に無知無関心の私は、即席の関心と、一抹の不安を抱いてのツアー参加であった。

名古屋空港(小牧)からの直行使、国営ガルダ航空は、赤道を越え、八時間(時差マイナス1時間)ほどで、バリ島のテンパサル国際空港に到着する。

機内は三百席ほどの定員一杯。聞いてはいたが「バリ島ブーム」は、もはや機内から始まっている。私の属する団体だけでも四十余り。

機内には、エキゾチックな香りが漂い、スチュアーデスは、インドネシア固有の緞織り、イカットのサロンに、ガルダ・ブルーの絹の長袖の上着。役割に応じて服装は異なり、多くはイカットの半袖シャツにガルダ・ブルーのスカートと、軽快

な一挙に、まだ見ぬ南国インドネ

ア・バリ島の空気と人々に出会った錯覚に包まれる。

「ガルダ」とは、バリ・ヒンズー敎で言う最高位の三神、創造の化身プラーマナ神・成長と守護の化身ウイシユヌ神・破壊の化身シワ神のなか、ウイシユヌ神の乗物とされる想像上の鳥(鷲)の名前である。

インドネシア国営航空機の名称に、イスラム敎信者が90%を占めるインドネシア共和国のなかで、唯一バリ島民の93%のみが信仰するヒンズー敎の伝説の鳥「ガルダ」の名前が、なぜ、あえて登用されたのか?

バリ島やインドネシア共和国の下調べのなかで、いくつかの疑問や調査課題をまとめたが、この疑問もその一つである。調査目的からすれば、どうでもよい問題なのかもしれないが、妙に気になる。その名称の由来にふれた資料に、一向にお目にかかれない。妻の持ち帰った機内誌を全部当たってみたが、分かったのは、「インドネシア共和国独立二年目(一九四九年)一月、ガルダ・インドネシア航空の第一便を就航いたしました。」ということくらいである。

一九四五年八月一五日、日本の敗戦により第二次世界大戦は終結し、同年八月一七日、インドネシア共和国は独立。民族の自由と平和の喜

びの象徴として「ガルダ航空」を世界にそして国内の島々に飛び立たせた、ということである。

今回はじめて搭乗した、ガルダ航空の観光キャンペーン機内誌(91年版)に掲載された、インドネシア観光局の記事によれば、「優美な曲線を描いて、インド洋に拡がるインドネシア群島には、1万3677の島々があり、1億7800万人に及ぶ人々が住んでいます」。

西のアチエ(スマトラ島)から東のイリアン・ジャヤまでは、赤道直下の約5000キロ。首都はジャワ西部のジャカルタ。

インドネシアを訪れる外国人観光客は88年が130万人、89年が162万、90年はおよそ190万人、そして観光年の91年は220万人を見込んでいる。

その中でも特にアジア地域からの旅行者の伸びが目立っており、日本人観光客は88年で16万、89年で19万である。インドネシアの観光産業は、3番目に位置する国の重要産業のひとつである。現在日本からインドネシアへの旅は、その大半がバリ島と中部ジャワのボロブドゥル遺跡であるといつて過言ではない。

ここまで読み進めてきて、同行したこの団体の観光スケジュールは、政府公認(?)の日本人観光客の典型的な旅行スケジュールであること、そして懸案のガルダ航空命名の由来が、なにかわかりかけたように思えた。

それは「バリ島」という小島が、数ある列島のなかで、観光地として古くから世界に知られたり、政府も認める傑出した観光資源の豊かな島であること。そして、その島民の大多数が信仰するヒンズー敎の最高位神・ウイシユヌ神の空

ける空想の乗り物「ガルダ」の名称を、「信敎の自由」「多称性の統一」を国是とし、観光立国を目ざすインドネシア政府は、初めての国営旅客機の名称に登用したのではなからうか?。その命名の由来を、このように勝手に推論してみた。

現実、いまやヒンズー敎伝説の鳥「ガルダ」は、観光経済の「成長」をもたらし、それによる国の「守護」のために、現代科学の粋を集めた国営ガルダ航空機に「化身」し、ウイシユヌ神ならぬ私たち日本人観光客を多く乗せ、空馭しているではないか?。もしかして私たち日本人は、ヒンズー敎信仰からすれば、ウイシユヌ神に見えるのかもしれない。勝手な推論から、勝手な論証に思いは広がってゆく。

とりとめもなくたわいない事柄かも知れないが、なにか爽快な気分になった。機内サービスのアルコールの勢いだけではない。

「自分の生活に、今すぐ必要でないもの、無駄なものを、敎養と言いたいものは人間のゆとりを、大げさなものだ。」と言うことを、大学の敎養部時代の哲学の講義で学んだことも、同時に思い出した。もう六〇年も前のことである。

昔を語り、今の必要なことは忘れ、無駄なことにはこだわる老人は、この哲学者の定義に従えば「みな敎養人なのかもしれない。」—そう思うと、またひとしお爽快な気分になった。

雲の上の成層圏を飛んでいるガルダ機の窓の外は、晴れわたり、スカイブルー。

機内の日本語放送が

「間もなく赤道を通過します」と予告する。すると一様に窓に寄りそい下を覗く。南半球を初めて旅する私などは、調査用のVTRカメラまで廻す。間もなく「只今、赤道を通過しました。赤道通過證を皆さんにお配りします。」のアナウンス。

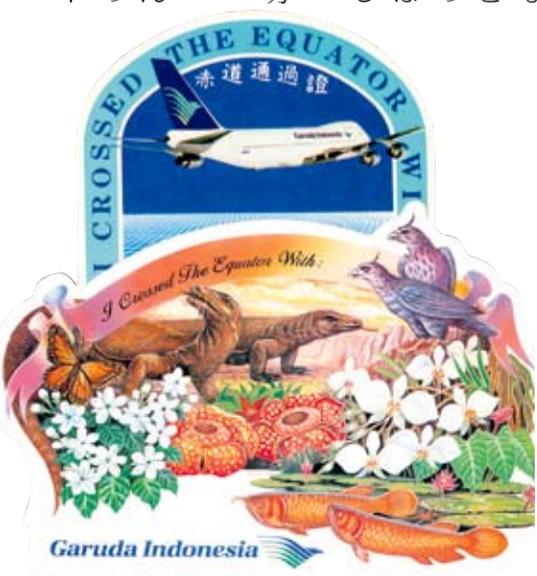
手わけしてスチュアーデスが、ワッペンを手渡ししてくれる。見事なデザインの通過證である。「芸術の島」バリならではの記念品とおし頂く。

近くで「赤道の赤い線みた。」いや見すぎした。」と、残念がる女性の会話が聞こえる。

多分、小学生時代、地図の勉強をし過ぎたのかもしれない、言いたくもなる、無邪気な会話である。

日本の子どもと敎育の深刻な現実の重さ、その現実に追い詰められる思いで設定した調査課題の重さ、このそれぞれの重さの内容は異なるが、やや肩肘を張って旅立ってきた私は、赤道通過時のこの会話と一斉に赤道を覗き込んだ中・高年の無邪気さに同化し、一挙に癒された。

癒しの島バリ島ならずとも、自らの手で癒し合う環境を造りだすことが出来たガルダ航空の「癒しの旅」でした。今夜はヒルトン泊り。



# 世界遺産検定と次の世代に伝えたいもの

私は、現在世界遺産検定試験を受験しながら、世界遺産検定のナビゲーターをやっています。世界遺産検定試験とは、2006年よりNPOの世界遺産アカデミーが実施している検定試験のことです。

試験の目的は、多くの人に世界遺産の存在意義とその保全の重要性を知ってもらうことにあります。

すでに3回実施されており、昨年度からは、試験の区分が初級と中級に分かれています。

私はこの試験のことを、書店で見つけた検定試験のテキストブックで知りました。直感的に「面白そう!」と思い、さっそくインターネットで検索してみました。

すると、近々、検定試験のガイダンスがあることが分かり、おまけに500円という安価な費用でしたので早速申し込みました。もともと史跡を訪ねることが好きでしたから、世界遺産には興味を持っていました。わざわざ試験を受けようとはまだこの時点では考えていませんでした。

ガイダンスでは、試験の目的や内容についての紹介や模擬試験などが行われました。

話の中で特に「世代を超えて伝えられてきたものを次の世代に伝えていくことの大切さを感じ、それに関わりたい」と思い、受験することを決めました。

試験は、市販されている3冊のテキストから80%以上出題されるため、テキストを読むことから始めました。日本の世界遺産には違和感がありませんでしたが、ヨーロッパの世界遺産の勉強を始めるとうんざんかんざんなところが多くありました。なぜなら、ヨーロッパはキリスト教に関係する世界遺産がものすごく多いからです。

キリスト教の基礎知識が無い私には教会と聖堂の違いさえよくわかりません。だから、キリスト教建造物の様式の違いを理解するのが一番苦労したところでした。

それでも何とか、2006年の第1回検定試験でシルバー認定を取得することができま

した。その後しばらくして、世界遺産アカデミーから2007年以降の世界遺産検定についての案内が送られてきました。

試験が、初級と中級に分かれ、中級はヨーロッパ、アジア、北米などの5つのエリアに分けて、世界遺産そのものについて問う試験になるとのことでした。

私は、この頃、海外の世界遺産を学ぶことで日本の世界遺産や文化の価値をより深く知ることができると考え始めており、中級試験についても迷うことなく受験を決めました。

そして、12月の試験に向けて準備を始めようとしていた頃、世界遺産アカデミーから一通のメールが来ました。

内容は、世界遺産検定試験の実施会場が多くなり、今までのようなガイダンスができなくなってきたため、シルバー認定者に検定試験ナビゲーターをお願いしたいというものでした。世界遺産検定試験を通して、世界遺産に興味を持ってもらうことのお手伝いができるのであればと思い、すぐに「参加します」と返信メールを送りました。

その後、ナビゲーターのためのオリエンテーションが開かれました。ガイダンスの時間は2時間。1時間が「世界遺産とは何?」から検定試験の紹介について、もう1時間が模擬試験という内容です。最初の1時間で説明する内容については、使用するスライドとその内容のレジュメが配られました。まず、それを持って、実際に隣の部屋で開催されているガイダンスに出席して、だいたいの要領をつかむのです。

そして、スライドとレジュメを自宅に持って帰って練習をして、別の日に設定されたリハーサルに臨むことになりました。リハーサルは、4人で行いました。

他の人の話す内容は、色々と自分なりの勉強方法などが組みこまれていて、練習のほどが伺えました。私はというとあまり練習しなかつたので、結構あせりました。

リハーサル終了後、実際にガイダンスを担当されていた方から、時間配分や内容についてのコメントがあり、もう一度自分で見直して本番に臨むことになりました。

本番は、11月13日(火)19時15分から2時間のガイダンスでした。参加いただいた方は、29名。会社の仕事で、代理店様向けの勉強会で

え合わせです。答え合わせの時に、いろんなエピソードを取り入れようと用意していたのですが、書き込んだ用紙にばかり目がいつて全体を見渡して話をするのができませんでした。とにかく、反省することばかりだったのですが、とてもいい経験になりました。

それぞれの試験で80%以上正解すると合格で、2科目合格するとプラチナ認定、1科目だとゴールド認定になります。間違いないので、見落しが多く、あまり満足いく内容ではありませんでした。試験終了後に解答が配布され、自宅に持って帰って、自己採点してみました。

結果は、両方とも75%しか取れず、合格点まで少し足りませんでした。もうちょっとだったので落ち込みましたが、内容が良かったのでしたかたありません。気持ちをリセットして再度リベンジすることになりました。

そうやって、絶えず試験を意識するようになっていきます。今は、9月の中級試験に合格することが当面の目標ですが、その後のことについてもよく考えたりします。世界遺産のセミナーに出かけた時のことです。

テーマは、日本の世界遺産についてでした。その時の講師の方の一言が深く心に残りました。

「有名な世界遺産は海外にたくさんあります。でも、まず日本の世界遺産に出かけて、実際に体感してみてください。法隆寺に行けば、鳥人が感じた空間です。エンタシスとか考える前に柱に手を回してみてください。柱の太さを感じることが出来ます。そういう風に日本の世界遺産の素晴らしさに直接触れてみてください。そうすると、海外の世界遺産を訪ねた時に受け止めるものも各段に違ってくると思います。」

学ぶだけでなく、実際に触れて、体感して初めて、多くのものを受け取ることが出来るのだと実感しました。私自身もひとりでも多くの人に「行ってみようか」と思ってもらえるような活動をしていきたいと考えています。

自分が出かけて体感した内容に、そこで触れた祖先の生活や風習、言い伝えなど、私たちが失いかけている大切なものも盛り込んで伝えていきたいと思えます。

日本に14個ある世界遺産のなかで、沖縄、屋久島、石見銀山、白神山にはまだ行っていません。こちらにも、近々出かけたいと考えています。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

## 武田 光司

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

## 日本の世界遺産



講師をしたことはあっても、勝手が全然違います。ゆっくり話をしようと思っていたのですが、だんだん速くなって10分前に終わってしまいました。

いろいろな盛り込んで楽しいガイダンスにしていきたいと考えています。さて、ナビゲーターの活動を終え、今度は自分の番です。12月16日に第3回世界遺産検定の中級試験が実施されました。私が選んだ科目は、ヨーロッパと日本を含む東アジアの2科目でした。

もうひとつは、出会った人に必ずこう言うことにしました。「私は、世界遺産検定ナビゲーターをやっています。そして今年の9月の中級試験で合格します。」

いろいろな人に言っていますから、後には引けません。

知多の動植物雑記(二二六)

原 穰

五月に入れば道ばたの草や木の花、虫さんたちをみつげよう」といったテーマのもと、知多の各地で親子の観察会が始まる。寒さも和らいだ四月初旬観察会の下見の名のもと桜見物に。知多半島を巡る桜見物は、どこもかしこも実



ヤマモモの派手な雄花と地味な雌花

「この花ナニ?」「花びらは何枚?」の質問に、返ってくる答は、花については即座に「ハコベ」花びらの数については「十枚!」...そうか、ナニと疑う私の眼にもう一度見つめ「五枚!」の答。「正解だヨ」と言えば「花びらの下が二つに分かれています」と答える小学生の鋭い観察力に感動!といった思いを胸に、再び桜の花巡り。満開の桜の美しさに大満足。ちよつと疲れ

を下さるれば、正面に花咲き誇るヤマモモの木が。近寄れば、二・三センチの茶褐色の毛糸をほぐして、何本も束ねたような花写真左が一面に。ヤマモモの赤くて丸く美しい実(写真右下)からすれば、花もこんなかなとカメラに収める。ところが、家へ帰って凶鑑を開けば、「房状の花は雄花」ヤマモモは雌雄異株で雄木の花に実はない。「雌花は細い棒状で、長さ一・二センチ」とある。だつたら雌花を見た以前、実のなっていた丘陵地のヤマモモの木を見に行くも何故か花はない。近くの公園へ行くも同じこと。かくなる上は、知多市在住の樹木に詳しい鈴木操氏に同行を依頼し、市内各地を巡るも雌花はなぜか見つからない。では旭北小なら以前見たことがあるから多分、と尋ねれば、あつた!雌花だ!(写真右上)目的達成!さすが操様だ!と感謝感激の日であった。

町の考古学 たけとよ (夏) 奥川 弘 成

遺跡

陶器に使われた粘土は、知多半島の先端部を除く丘陵地のどこでも採掘することができます。粘土は一見すると青色や灰色、赤色、白色などをしています。それは、粘土に含まれる鉄分などの鉱物が発色したものとされます。一般に鉄分が多い粘土を野焼きすると黄色・赤色に発色をします。また、知多半島で生産されていた土管や甕レンガなどの色で象徴されるように、高温の窯で焼くと赤色からこげ茶色となります。平安時代から鎌倉時代の茶碗や皿は白っぽい灰色をしていて、知多半島の土でこの色を発色させることは難しい技術です。考えられている手法は、白色の粘土を使い生地をつくること。窯で焼く最終段階で窯をふさぐときに大量の炭



曾原北遺跡の粘土採掘跡

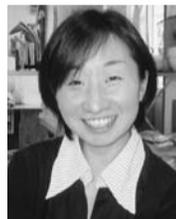
ここで注目されているのが白色の粘土です。知多半島の粘土は青灰色や赤色の粘土が多く、白色に近い粘土は少ないといわれています。やすらぎの森墓園地内で発掘調査した畑田池古窯と大谷道古窯で茶碗などを作る粘土が見つかっています。それは、製品をつくる際の間に粘土で調整した調整工程を経て、色調が白っぽい灰色でした。この粘土は、窯跡に詳しい陶芸家による焼成実験で作陶用の粘土であったことが確認されています。精製された粘土が窯場に持ち込まれていたようですが、山から掘り出す原土の粘土をどこで採掘していたかが

分かっていませんでした。曾原北遺跡の粘土採掘跡とみられる所は、緩やかな傾斜地に連続した掘り込みによって段差がつけられていました。その一か所を調査したところ、白色の粘土層が表れました。ここでサンプルした白灰色の粘土が陶土に利用できるのか陶芸家に試し焼きを依頼しているところです。そして、竹の根が入り込み確認が難しかったのですが、一か所に鋭く削った痕跡が見つかりました。当時、甕を使ってトンネル状の窯を造っていたことが窯の壁に残る痕跡から判明しています。同様に硬い粘土を掘り出すには、鉄が必要で、粘土掘りは、鉄先の消耗が激しかったことでしょう。そのため、鉄を修理する鍛冶は欠かせない作業であった

はずです。この粘土採掘場は、鉄を溶かしたときにできる鉄滓が出土した鍛冶場と数mも離れていません。2kmほど歩んだ先には、中世集落のウスカイト遺跡があります。ここでは大きな鍛冶場が見つかっていますが、そこまで行くまでもなく現場で道具の修理にあたっていたようです。集落から隔てた丘陵地で粘土を掘り、甕をつくり、木を切り、鍛冶をし、茶碗をつくる知多半島の山仕事の人々は、職人と農士の仕事をこなす知恵や技術を持った職人であったようです。この山仕事を失った室町時代以降、彼らのはぐんだ窯場の作業が後の大野鍛冶や土木作業に長けた黒鉄集団に生かされてつづけたことと

ちよつとおじやまします

陶芸家 武知かつかさん



会社を退社した。焼き物が大好き。焼き物が趣味と自覚していたはずなのに、趣味が高じて陶芸家としての第一歩を踏み出したのは、つい最近のことだ。生まれたばかりの子どもの背負い、共栄窯セラ



手描きだからこそ一点ものよさがあると思えます。と、自らの作品について彼女は語ってくれた。器の内側、裏側、正面と、どの角度から眺めても、桜を見ることのできる。彼女は一点一点手を抜くことなく、絵付けをする。うっとりとして、見とれてしまう。その一点一点が異なる、桜の精神美は、どれも気品に溢れていた。これとは対照的に、イメージは

若竹俳壇

作品募集 毎月十日までに集めて

- 吉田信義展(七日)水(金)十一日(水) 栄一展(九日)水(金)十一日(水)
加藤真美陶展 Tapestry 三日(土)祝(日)午後五時半〜
窯の中で「らくだ珈琲館」三日(土)祝(日)六日(火)祝(日)六日(火)祝(日)
森下宗則陶展 五日(月)祝(日)
木下守陶展 九日(金)〜十日(土)
陶三人展(谷川宏・前川渡・柿田秀月) 二十三日(金)〜二十四日(土)
五感夏のよそおい展 十一日(日)〜十二日(月)
河村富代子藍のニードルワーク 十三日(火)〜十八日(土)
はちはち「天然手染工房」 二十日(火)〜二十五日(土)
たみ子パッチワークキルト「私の Sewing」小物展 二十七日(火)〜六月一日(日)
古布恋創作展 二十四日(土)〜二十五日(日)
ことものが寝るあいだに 六日(日)〜七日(月)
松橋かおり 陶展 六日(日)〜七日(月)
伊藤雄志作陶展 九日(金)〜十日(土)
藤田徳太陶展 三十日(金)〜三十一日(土)
方館

Advertisement for Radio Vitamin, featuring a radio and text about health benefits. Includes contact information and a QR code.

わが家のニューフェイス



永野 希奈(5才5ヶ月) 美桜(5ヶ月) 武豊町金下

写真・文	の♡	よ。だ。か。ら。未。桜。は。と。っ。て。も。幸。せ。	り。す。る。と。み。ん。な。幸。せ。顔。に。な。る。ん。だ。	し。や。べ。り。も。大。好。き。な。の。お。し。ゃ。べ。	ニ。コ。ニ。コ。♡。だ。い。だ。よ。あ。と。ね。お。	く。れ。る。よ。だ。か。ら。未。桜。は。い。っ。つ。も。	い。な。い。時。は。マ。マ。と。い。が。遊。ん。で。	る。ん。だ。あ。お。姉。ち。ゃ。ん。が。幼。稚。園。で。	い。っ。ぱ。い。遊。ん。で。れ。	ち。ゃ。ん。が。大。好。き。な。の。	桜。で。す。♡。未。桜。は。お。姉。	は。じ。め。ま。し。て。未。
------	----	----------------------------	--------------------------------	------------------------------	----------------------------	------------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------	--------------------	--------------------	----------------



愛とMy Family



榊原 璃美(1才4ヶ月) 常滑市山方

写真・文	し。て。怒。ら。れ。ち。ゃ。う。の。♡。	て。も。ら。う。の。-	る。こ。と。だ。よ。そ。の。時。イ。ナ。バ。ウ。ア。ー。	だ。も。の。♡。遊。び。で。は。ブ。ラ。ン。コ。に。乗。	と。海。苔。だ。よ。と。っ。て。も。美。味。い。ん。	の。お。気。に。入。り。の。食。べ。物。は。み。か。ん。	子。を。見。て。い。ら。れ。る。ん。だ。も。ん。♡。最。近。	に。掴。ま。っ。て。い。る。と。パ。と。マ。マ。の。様。	掴。ま。っ。て。る。よ。こ。こ。	の。青。い。て。す。り。に。毎。日。	璃。美。で。す。最。近。は。こ。	皆。さ。ん。こ。ん。に。ち。は。
------	----------------------	-------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------	--------------------	------------------	------------------



デュプロ販売株式会社 (名古屋) 東海・北陸地区発売元 EVQI

デュプロはコンピュータネットワークを活用した、お客様の新しいビジネススタイル"e-BUSINESS"を提案していきます。



情報を美しく。デュプロ

Duplo®

デュプロ販売株式会社

〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020

知多四国めぐり 関連書籍販売しています



プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷PDF高速データ変換・CD-ROM作成・Data Base・CG制作

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21 TEL(0569)29-2525(代) FAX(0569)29-4500 URL http://www.handa-cp.co.jp E-mail main@handa-cp.co.jp

グループ会社

プリ・テック株式会社 ● プリテックメディア株式会社 ● トーヨー印刷株式会社